

# 大津中だより

郵便番号 239-0808 横須賀市大津町5-2-1  
Tel (046) 823-1032 Fax (046) 824-9429  
E-mail : admini@ootsu-j.yknet.ed.jp

【令和4年度 学校教育目標】  
感性豊かに 学びを深め 未来を拓く  
～今日を生き よりよい社会を創るために～  
『向上心』 『必要性』 『当たり前』  
発行者 校長 星野洋司



## 『夏が来た！ 3年ぶりに再開しました！が…』

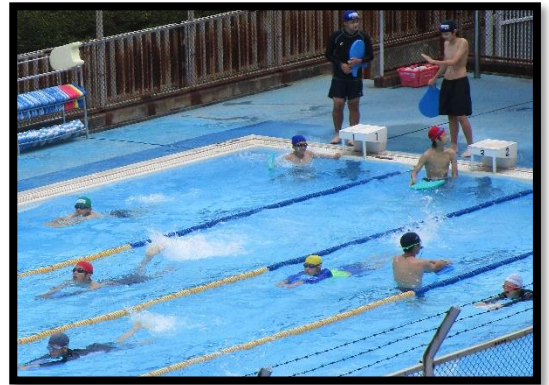
今年は異例の異常気象で、6月後半には梅雨が明け猛暑の日が続いています。学校生活でも昨年より早く、熱中症等の対策として、「塩分チャージタブレットの配給」「授業中の水分補給」「グラウンドの日除け用テント2張り」「グラウンド入口にミストシャワー2ヶ所設置」などを行っています。しかし、マスクの着用による心配もあります。運動時や登下校時、人との距離がとれるとき

など、マスクを外す呼びかけをしていますが、炎天下の中でもつけたままで運動をして、顔が真っ赤になっている生徒もいます。条件に合う場面では、こまめにマスクを外すようお願いします。

そんな中、体育の授業では、3年ぶりに「水泳授業」が再開となりました。この2年間は、新型コロナウイルスの影響で「水泳授業は中止」となってしまったため、全学年とも大津中学校では初めての水泳授業となりました。やはりこの時期にプールで元気に泳いでいる姿を見ると、「夏が来た～！夏休みが近づいて来たな～！」と実感しています。(当然ですが、感染防止対策はしっかり行っています)

生徒から水泳授業の感想を聴いてみたところ「水泳の授業ができて良かったです。」「最初はコロナが心配で、少し抵抗がありましたが、クラスみんなで泳げて、楽しかったです。」「思っていたより、水が冷たくビックリしました。」「以前より泳げるようになっていたので、自分でも驚いています。」など、プラスな感想が多くありました。しかし逆に「まだコロナの感染が気になるため、泳ぐことに抵抗があります。」と心配する声もありました。

この夏は、水泳の授業だけではなく、多くの活動(地域の行事も含め)が3年ぶりに再開の予定となっているものも多くあります。楽しみながら参加して欲しいのですが、その中でも「感染対策」も当然行うよう一人ひとりが心がけてください。(横須賀市も増えているので) そこから「できることが増えてくれば」と思っています。



## ◇◆◇『10月の全校最大行事「体育祭」に向けて！』◆◆◇

今年度は、10月20日(木)の開催となる、全校で取り組む最大行事『大津中学校 体育祭』に向けて、準備がスタートしました。(今年度より、熱中症等の対策を考え、市内中学校のほとんどが、10月開催となりました。)

7月7日(木)には、テレビ放送ではありますがカラー決め集会を行い、「各カラーとクラス」「スローガン」が決定しました。

カラーは、『白カラー：3年3組・4組、2年5組・6組、1年1組・2組』

『青カラー：3年1組・2組、2年3組・4組、1年5組・6組』

『赤カラー：3年5組・6組・7組、2年1組・2組、1年3組・4組』です。

令和4年度大津中体育祭スローガンは、3年4組(藤田凜さん)が考えた

『空高く 届け情熱 響け歓声』となりました。

スローガには「新型コロナウイルスの影響で、大きな声で応援が難しい中、1人1人が体育祭を盛り上げる気持ちで競技に臨み、心の中で大きな歓声を出して応援して欲しい。」と、言う思いが込められています。このスローガンのもと

どんな体育祭になるのか！今から「わくわく」し、楽しみで仕方ありません。よろしくお願いします。(特に、3年生、頼みますよ！)



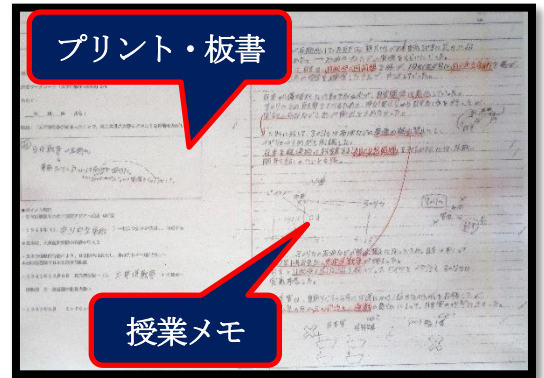
## 【大津中 小さな わくわく NO.13】 主体的な学び・ノート作り!!

先日、教育委員会の先生が3年生の授業を見学に来た際、「3年3組の工藤さんのノートが素晴らしいです。」と教えてもらいました。その後すぐそのノートを見せてもらうと、左側のページには授業のプリントが張っており、右側のページには、『授業中に先生が言っている言葉や内容で重要だと思うこと』がメモされていました。(右の写真は実際のノートですが、見えなくてすみません)

工藤さんに話を聴くと、2年生の頃はプリントにメモをしていましたが、3年生からこのような方法に変えたそうです。この方法は、自分にあった学習方法を考えて取り組みはじめたそうです。今回紹介した学習方法は、「マネしなさい」と言うことではなく

方法は人それぞれ違っているものなので、「自分に合った学習方法を見つけるためのヒントになれば」と思い紹介しました。自分のやり方こそ「自主的な学びから、『主体的』な学び」へと進化する瞬間だと思っています。何が自分にヒットするのか分かりません。だからこそ、友達や家族、先生方からいろいろな学習方法を聴き参考にし、そして、試行錯誤を繰り返しながら、自分なりのオリジナル学習方法を探してみてください。

<PS> 実は私も、中学時代から同じように「左側は黒板を写し、右側はメモ帳」として、授業の中でポイントだと感じた事や分からない・疑問を持った事などを書き残していました。教師になり授業用のノートも同じように使っていました。(先生になってからは、生徒からの言葉や、反応をメモしていました。)



## 【大津中 小さな わくわく NO.14】 3年生3名が 素晴らしい「神対応！」

6月18日(土)土曜授業の朝、3年生3人(左から、森下永斗君、永石龍誠君、川島いち君)が、遅れて登校して来ました。その様子を見て、「今日はどうしたの？」と声をかけると、「堀之内駅近辺の駐輪所で、大きな荷物を持ったおばあさんが、自転車ごと倒れ転んでいたの、対応して(助けて)いました。」と教えてくれました。

詳しく話を聴くと、おばあさんが転んでいるところに通りかかり、「大丈夫ですか？」と声をかけたそうです。すると、起き上がることはできたものの、足をひねってしまったようで、歩くことが難しくなりました。そこで3名がとった対応は、一人が肩を貸し、一人が荷物も持ち、一人が自転車を押して家の近くまで送ったそうです。

最近、通りかかりに「困っている人」がいても、声もかけずスルーしてしまうことがある中、このような対応・判断できたことで、転んでしまったおばあさんもきっと「感謝」していると思います。(怪我の方もたいしたことなければ良いのですが。) 本当に素晴らしい対応でした。

とっさに、このような適切な判断『神対応』ができることは、当たり前のことではなく、とても素晴らしいことだと感じています。大津中学校には「地域のためになってる生徒がいる」ので、とても誇らしく思います。



## 【大津中 小さな わくわく NO.15】 何気ないことが とっても嬉しい!

今回紹介したいことは、「さりげない行動(本当に小さなこと)」に、心がわくわく・温くなった瞬間の話をも2つほど紹介させていただきます。(なかなか紹介するタイミングがなかったのですが、心に残っていたことです。)

1つ目は、5月の3年まちづくり研修旅行の出来事でした。一緒に行った体験場所で靴を履き替える際、3年7組の井川穂香さんが、自分が中に入る前に私のためにスリッパを揃えて、「どうぞ」と用意してくれたのです。「ありがとう」とお礼を言いながら、とっても嬉しくなり「心がわくわく・温くなった瞬間」でした。何気なく・さりげないことですが、きっと普段から誰に対しても優しい対応ができている人なのだなと思いました。

2つ目は、登校時の手指消毒をしているときのことです。手動の消毒を通過する際、私が押して消毒液を出すと「ありがとうございます」と言ってくれる生徒が多くなってきました。中には、しっかり目を合わせ会釈しながら言ってくれる生徒もいます。当たり前のことですが、朝から心がわくわく・温まり、嬉しくなる瞬間です。